

配置計画
計画条件 (仮) と目標 (案)

○地域と繋がる西側道路に対して、学校活動や地域の交流活動が表れ、賑わいや活気が生まれるようにする。

○視認性を確保し、児童生徒が安全に安心して通学できる。アプローチと乗降できるように計画する。

校舎
○厳しい気候に耐え、省エネで快適に過ごせる。
○敷うに、熱負荷を抑制しやすい校舎形状とする。
○自然採光や通風を生かせる校舎とする。
○接地性に配慮する。

○いこいの庭
現在の環境を残し、思い出を継承する

児童・生徒・サービスマン
・・・

計画条件 (仮)
校舎等の配置
・新規購入敷地内に配置する
・都市計画公園(しらかば公園)約1,600㎡を
現いこいの庭に移転する →同等面積確保
校庭
・300mトラック、100m直線路
・テニスコート2面
・野球場(中学生練習用とスポーツ少年団用の
内野を別々に確保)
アプローチ
・全体的アプローチ動線(学校・地域・サービ
ス)は基本的に西北側道路から確保する
→東北側は一皮河川用地があるため
駐車場等
・40台程度
・駐車場(教職員用・来客用・バリアフリー対応)
→地域開放用駐車場は、仮設校舎前のスパー
スを流用
・駐車場 ○台程度(今後、確認)
計画面積
・最大 約7,700㎡

校舎から校庭に
スムーズに出られる

校庭
○日当たりの良い校庭を確保する。
○成長段階の異なる児童生徒が、
のびのびと遊び、運動できるようにする。

5月~8月の
風向

9月~10月の
風向

○現在の敷地環境を活かし、開発・造成工事費を
極力抑えるために、校舎はコンパクトに配置する。
→北側の小川・湿地帯や東側の山を保全し、
環境教育などに生かす

